

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域子育て支援センター事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	事業の財源となる国・府補助金事業の実施要綱の変更に伴う要領改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市地域子育て支援拠点事業実施要領、吹田市地域子育て支援事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		地域子育て支援事業として、育児教室やサークル支援に取り組む施設に対し、補助金を交付している。											
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	就学前の在宅の児童とその保護者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	地域における子育て支援機能を強化し、「子育ての地域協働の構築」や「子育ての主体形成」を目指す。 地域で親子の友だちづくりが広がり、孤立した育児や育児不安が軽減される。また、子育て支援に関わる機関や団体の連携が進み、地域ぐるみの子育て支援が広がる。												
(7) 事業概要	<p>私立保育所等に対して、育児教室をはじめ、子育てサークルの育成・育児相談・施設の一部開放など地域子育て支援事業にかかる費用について予算の範囲内で補助を行う。 また、保育所等を拠点として子育て家庭への支援活動・育児不安についての相談指導・子育てサークル支援などを行う事業について、私立保育所へ業務を委託する。 さらに、保健センターや幼稚園、民生・児童委員や地区福祉委員等関係機関との連携を進め、地域の子育て環境の基盤形成を行う。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		46,760	46,441	49,078	48,635	50,141							
	人件費	職員数	人	2.25	2.25	2.05	2.25	1.40						
		総額(B)	千円	18,675	17,881	17,122	18,792	11,438						
	総事業費(A+B)		65,435	64,322	66,200	67,427	61,579							
	特定財源(C)		33,757	34,139	32,324	34,753	33,007							
	(内訳)	国	7,320	8,250	7,357	8,268	7,684							
		府	26,437	25,889	24,967	26,485	25,323							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		31,678	30,183	33,876	32,674	28,572							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		31,678	30,183	33,876	32,674	28,572								
財源計(C+D)		65,435	64,322	66,200	67,427	61,579								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	私立保育所4か所										
			②											
			③											
	主な委託内容		地域子育て支援拠点事業(一般型)											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	私立保育所及び認定こども園17か所											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	1歳半及び0歳児育児教室延べ実施回数	目標値	(単位:回)	1,172.00	1,232.00	1,232.00
			実績値	(単位:回)	968.00	931.00	/	
		達成度(%)			82.6	75.6		
	目標値の積算方法	1歳半育児教室(4コース×8回)×21か所、0歳児育児教室(4コース×7回)×20か所	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		66.45		72.42
				一般財源(単位:千円)		31.18	35.10	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	1歳半及び0歳児育児教室参加組数	目標値	(単位:組)	3,034.80	3,052.00	3,168.00
			実績値	(単位:組)	1,524.00	1,363.00	/	
		達成度(%)			50.2	44.7		
	目標値の積算方法	1歳半健診対象者及び各年度の5月1日付0歳児数から保育所入所児数を除いた数のうち、事業実施園全体に占める私立実施園の9割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		42.20		49.47
				一般財源(単位:千円)		19.80	23.97	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>私立保育所等へ委託と補助を行うことにより、地域ごとの事情に対応したきめ細かな支援に取り組むことができています。</p> <p>今後も地域子育て支援センターが核となって、安心して子育てができる地域づくりを進める必要があります。また、事業者が安定的にサービスを提供し続けることができるかを見極めながら、地域子育て支援事業に取り組む施設の箇所数を増やし、より身近な地域で支援を受けることができる環境づくりを進める必要があります。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	地域子育て支援センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00252				

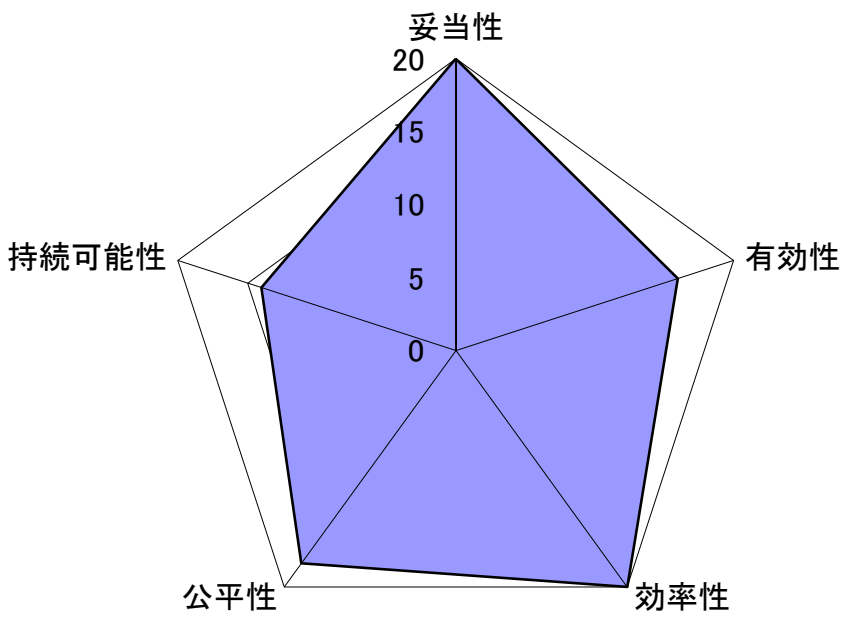
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00252
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>育児教室、地域開行事、育児相談、施設の一部開放等を実施することにより、仲間づくりが広がり、保護者の育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を支える環境づくりが図られています。育児教室の募集定員を超えて申込みのある施設もあり、市民ニーズが高い事業であるため、地域バランス等を考慮しながら地域子育て支援事業の実施箇所数を増やすことを検討します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	一時預かり助成事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成3年度	改正内容	事業の財源となる国・府補助金事業の実施要綱の変更に伴う要領改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市私立保育所等一時預かり事業助成金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	22							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一時預かり事業を実施する私立保育所及び認定こども園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な預かりや、緊急時の保育需要に対応できるよう環境を整備する。 安心して子育てができる環境を整備することにより、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減し、児童福祉の向上に寄与する。												
(7) 事業概要	保護者の就労形態の多様化に伴い、通常保育の対象とならない断続的・一時的な就労を保障するため、保育所等を利用していない家庭を対象に、週3日までの一時的な預かりや、保護者の傷病等による緊急的な保育を実施する私立保育所等に対し、事業にかかる費用について、予算の範囲内で助成金を交付する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		13,260	13,260	22,420	10,633	19,580							
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	1.00							
		総額(B)	415	398	418	418	8,170							
	総事業費(A+B)		13,675	13,658	22,838	11,051	27,750							
	特定財源(C)		8,840	8,840	14,946	7,088	13,052							
	(内訳)	国	4,420	4,420	7,473	3,544	6,526							
		府	4,420	4,420	7,473	3,544	6,526							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		4,835	4,817	7,892	3,963	14,698							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		4,835	4,817	7,892	3,963	14,698								
財源計(C+D)		13,675	13,657	22,838	11,051	27,750								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	私立保育所及び認定こども園(6か所)											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一時預かり事業を実施する私立保育所等の 箇所数	目標値	(単位:箇所)	7.00	11.00	/
			実績値	(単位:箇所)	6.00	6.00	
			達成度(%)		85.7	54.5	
	目標値 の積算 方法	【平成26年度まで】需要と地域のバランスを 考慮した目標値。【平成27年度～】子ども・ 子育て支援事業計画等に基づく目標値。	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	2,276.33	1,841.83	
				一般財源(単位:千円)	803.00	660.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 一時預かり延べ利用児童数	目標値	(単位:人)	5,600.00	8,750.00	/
			実績値	(単位:人)	4,869.00	3,422.00	
			達成度(%)		86.9	39.1	
	目標値 の積算 方法	【平成26年度まで】一時預かり事業実施施 設の事業計画に基づく数値【平成27年度 ～】子ども・子育て支援事業計画に基づく数 値	単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	2.81	3.23	
				一般財源(単位:千円)	0.99	1.16	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当た りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		子ども・子育て支援事業計画の供給量を充たすため、市内に11箇所程度の実施施設を設置することを目標としており、今後、実施施設のさらなる拡充が必要です。平成28年度は新設の私立保育所1箇所事業開始が予定されています。				

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	一時預かり助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00253				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	子育て支援課	事務事業番号	00253
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>本事業は、児童福祉法に基づく事業として位置付けられており、国・府からの補助を受けて対象の私立保育所に対し助成を行っています。 多様な保育ニーズに応じていくために、子ども・子育て支援事業計画に基づき事業を拡充していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	子育て広場助成事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	領収書等の証拠書類及び交付決定通知書等の保存期間の延長											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	吹田市子育て広場事業補助金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		開設初年度に限り、初度設備費70万円(施設賃借料の支出を要する場合には、100万円)を上限として助成する。											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	就学前の在宅の児童とその保護者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域で子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、育児不安を軽減する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域の中で安心して子育て・子育てができる環境整備が図られる。													
(7)	事業概要	子育ての負担感を軽減するため、乳幼児及びその親が気軽に集い、交流し、子育ての喜びや楽しみを共有できる「子育て広場」を設け、子育てに関する相談その他の子育て支援に係る事業を行う団体に対し、補助金を交付する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		30,636	30,576	30,684	30,684	37,153							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	1.00						
			総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012	8,170						
		総事業費(A+B)		35,616	35,345	35,696	35,696	45,323							
		特定財源(C)		20,424	23,048	20,456	22,992	24,768							
		(内訳)	国	10,212	11,524	10,228	11,496	12,384							
			府	10,212	11,524	10,228	11,496	12,384							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		15,192	12,296	15,240	12,704	20,555							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	15,192		12,296	15,240	12,704	20,555									
財源計(C+D)		35,616	35,344	35,696	35,696	45,323									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	市民団体 8団体										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間の開設日数	目標値	(単位:日数)	2,000.00	2,080.00	2,000.00
			実績値	(単位:日数)	1,719.00	1,725.00	
		達成度(%)		86.0	82.9		
	目標値の積算方法 週の開設日数(5日)×年間の開館週数(初年度においては25週次年度以降50週)×団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		20.56	20.69	
			一般財源(単位:千円)		7.15	7.36	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 のべ利用組数	目標値	(単位:組数)	17,180.00	18,200.00
	実績値			(単位:組数)	20,780.00	17,405.00	
	達成度(%)		121.0	95.6			
	目標値の積算方法 各年度の総開設予定日数×10組	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.70	2.05	
			一般財源(単位:千円)		0.59	0.73	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		身近な地域で親子が交流し、子育ての相談することができる場を提供する本事業の実施により、子育ての負担感の緩和と子育ての仲間づくりが進められています。このことは児童虐待の防止にも寄与していると考えます。今後も事業内容の充実を図り、継続して実施していきます。				

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子育て広場助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00254				

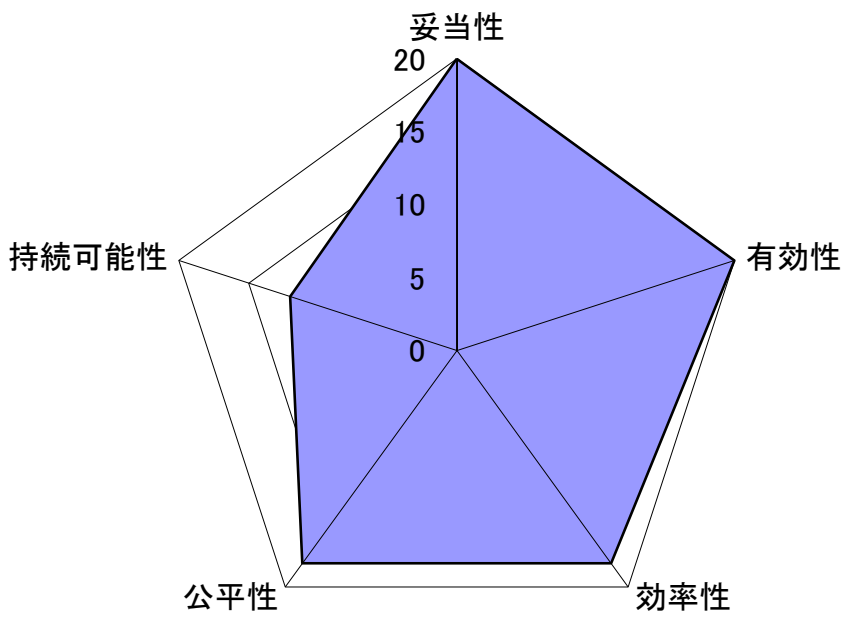
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00254
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>核家族化や少子化により、子育てに関して身近なアドバイスや自分自身の経験が不足し、子育て不安を感じられる保護者が増える中、身近な地域で親子が交流し、相談をすることができる「子育て広場」を設けることにより、子育ての負担感の緩和と子育ての仲間づくりが進められています。このことは、児童虐待の未然防止にも寄与しています。また、利用者が支援者側に回る事例も増えており、地域の人材育成と子育ての市民相互支援の輪が広がり、子育て環境の整備を促進していると考えます。</p> <p>平成28年度は運営費の補助金を増額し、施策内容の充実を図り、「支える人を支える」体制づくりを進めます。一方で、地域による公平性に欠けることや事業運営団体の更新方法などに課題があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	児童会館管理事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	児童会館・児童センター												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	児童会館・児童センターの適切な管理運営												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れる。													
(7)	事業概要	児童会館・児童センターにおける施設維持管理													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	8	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		65,197	84,747	64,243	64,301	82,538							
		人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.20	1.20	1.30						
			総額(B)	千円	9,130	8,742	10,023	10,023	10,621						
		総事業費(A+B)		74,327	93,489	74,266	74,324	93,159							
		特定財源(C)		156	110	160	95	16,410							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	16,250							
			その他	156	110	160	95	160							
		市負担(D)		74,171	93,379	74,106	74,229	76,749							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	20,575	0	0	0							
一般財源	74,171		72,804	74,106	74,229	76,749									
財源計(C+D)		74,327	93,489	74,266	74,324	93,159									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 延べ使用証交付者数	目標値	(単位:人)	39,966.00	40,278.00	/
			実績値	(単位:人)	16,849.00	23,498.00	
		達成度(%)		42.2	58.3		
	目標値の積算方法 3か年における延使用証交付者数-卒業生分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.39	3.16		
			一般財源(単位:千円)	4.38	3.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 延べ利用児童数	目標値	(単位:人)	202,188.00	281,976.00	/
			実績値	(単位:人)	232,799.00	242,331.00	
		達成度(%)		115.1	85.9		
	目標値の積算方法 延べ使用証交付者数×月1回×12月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.32	0.31		
			一般財源(単位:千円)	0.32	0.31		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		各児童館に館長を配置し、施設の維持管理、児童厚生員の指導・管理を行うことにより事業内容の充実を図るとともに、経費の抑制に努め、より効率的な運営に努めているところですが、施設や備品の老朽化により、年々修繕料の負担が大きくなっています。				

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00274				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	子育て支援課	事務事業番号	00274
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費の大部分が館長の報酬、光熱水費等の需用費、清掃等の委託料で占められているこの事業では、これ以上の低減余地はない。さらに、施設や備品の老朽化により修繕料の負担も大きくなってきている。この事業の目的は、施設の維持管理により子ども達が安心して遊ぶことができるようにすることであり、指標項目のみでその成果を図ることは困難であるが、概ね単位あたりのコストに見合った成果をあげているものと考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	児童会館運営事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	保護者が同伴している乳幼児及び小学生											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れる。												
(7) 事業概要	<p>児童会館・児童センター(11施設)に児童厚生員を配置し、児童に対する遊びの指導や、様々な行事を実施し児童の健全育成を図っている。また、就園前の乳幼児を対象にした幼児教室を実施し、友だちとの関わりや簡単なルールのある遊び、保護者同士の交流等を通して、親子が楽しく向かい合って遊びながら友だちづくりを進めている。</p> <p>平成21年度から毎日開館(5月3～5日・年末年始を除く)を実施しており、開館時間は、4月から9月は午前10時～午後6時、10月から3月は午前9時30分～午後5時30分。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	8	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		266,373	242,012	260,675	250,840	256,452							
	人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.20	1.20	1.30						
		総額(B)	千円	9,130	8,742	10,023	10,023	10,621						
	総事業費(A+B)		275,503	250,754	270,698	260,863	267,073							
	特定財源(C)		22,757	20,814	20,813	21,401	20,770							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	21,520	19,786	19,753	20,434	19,786							
		その他	1,237	1,028	1,060	967	984							
	市負担(D)		252,746	229,940	249,885	239,462	246,303							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		252,746	229,940	249,885	239,462	246,303								
財源計(C+D)		275,503	250,754	270,698	260,863	267,073								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	千里山竹園児童センター管理運営協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		千里山竹園児童センターの管理運営業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	延べ使用証交付者数	目標値	(単位:人)	39,966.00	40,278.00	40,783.00
			実績値	(単位:人)	16,849.00	23,498.00		
		達成度(%)				42.2	58.3	
	目標値の積算方法	3か年における延使用証交付者数－卒業生分	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.88	11.10	
				一般財源(単位:千円)		13.65	10.19	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	幼児教室延べ参加児童数	目標値	(単位:人)	34,271.00	37,019.00	248,352.00
			実績値	(単位:人)	20,193.00	18,787.00		
		達成度(%)				58.9	50.7	
	目標値の積算方法	幼児教室想定定員×実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.42	13.89	
				一般財源(単位:千円)		11.39	12.75	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		児童会館・児童センターの運営については、専門性のある非常勤職員を配置し、就学前の子どもから小学生までを対象としたさまざまな行事を展開し、充実を図っています。近年、乳幼児と保護者の来館者数が増加しており、市民ニーズの高い一時預かり事業のモデル実施を検討します。					

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00275				

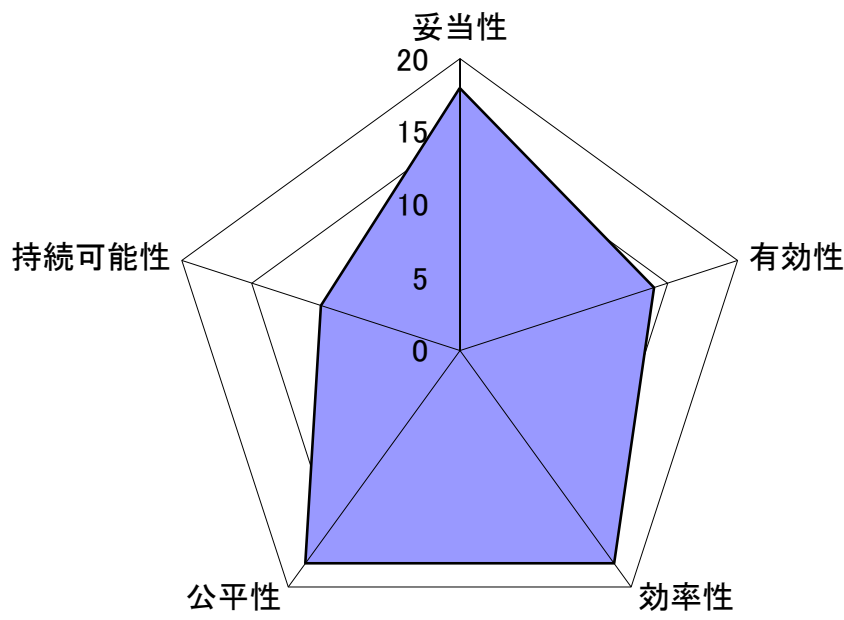
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	78	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	00275
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>児童会館・児童センターは、地域子ども達が健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにすることを実現するとともに、子育て中の親子の交流の場や仲間づくりを目的として市内11か所設置されている。また、各児童会館・児童センターは、子どもたちの居場所・仲間づくりの場としてだけでなく、地域の子育て支援の拠点の1つとして、貴重な役割を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	子ども・子育て支援情報充実事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	子ども・子育て支援法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民及び本市への転入検討者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	教育・保育施設等の利用者希望者の利便性の向上及び窓口の混雑緩和												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	施設検索システム等の導入													
(7)	事業概要	子育て中の保護者が求める教育・保育施設等を絞り込む施設検索システムを導入するとともに、各種子育て支援に関する情報提供を充実させることにより、利用者の利便性の向上を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	3	中事業	60	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,583	0	0	5,288	208							
		人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.00	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	0	0	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		7,243	0	0	6,959	1,842							
		特定財源(C)		5,583	0	0	5,288	0							
		(内訳)	国		5,583	0	0	5,288	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,660	0	0	1,671	1,842							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,660	0	0	1,671	1,842								
財源計(C+D)		7,243	0	0	6,959	1,842									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)アスコエパートナーズ										
				②											
				③											
		主な委託内容		施設検索システムの導入											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:人)	0.00	4,625.00	/
			実績値	(単位:人)	0.00	4,712.00	
			達成度(%)		0.0	101.9	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1.48	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.35		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	複数の条件から市民の望む情報を簡単に検索できるシステムを導入しました。			目標	子育て支援施策の情報発信を充実、強化する。
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		施設検索システム等を追加した平成27年10月以降、行政サービスガイド「すくすく」の閲覧回数を飛躍的に伸ばすことができました。今後も、常に最新の情報が提供できるように努めていきます。				



## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子ども・子育て支援情報充実	事業区分	その他
事務事業番号	01076				

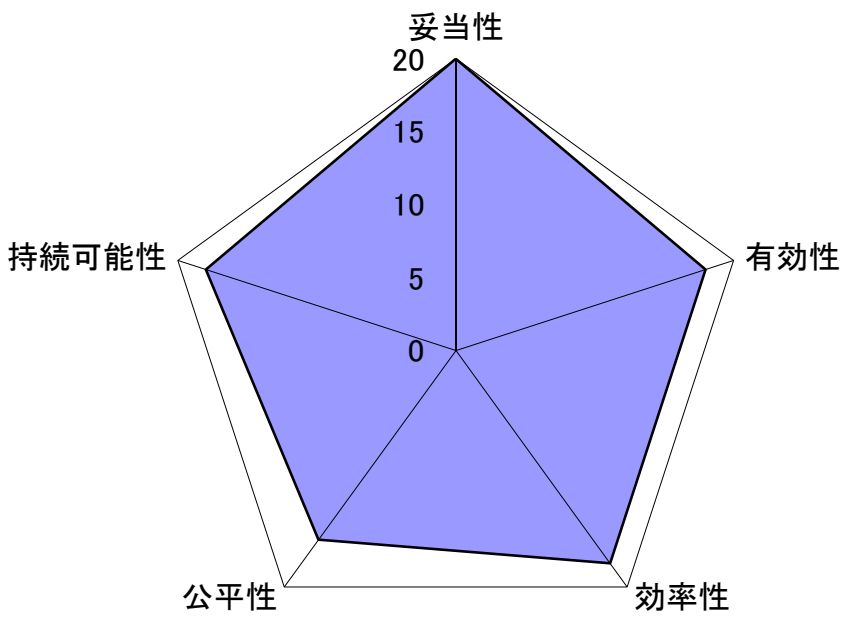
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01076
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年10月に、本市ホームページにおいて、利用者の条件に合った子育て支援施設を検索できるページを追加するとともに、子育て支援施策の情報発信を充実強化し、利便性向上を図りました。子ども・子育て支援新制度の施行により、ますます情報提供の充実が求められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	(仮称)北千里児童センター整備事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更					
(2) 直近の改正	平成26年度							
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	児童センター					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童一人ひとりが、本来持っている能力や可能性を引出し発展させ、心身共に健全な育成を図れる。						
(7) 事業概要	市内を6ブロックに分け、1ブロックに児童会館・児童センターを2館整備する構想に基づき、11館の児童会館・児童センターを整備している。未整備の北千里地域に児童センターを整備する。							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	北千里駅周辺活性化ビジョン(案)を策定し、パブリックコメントを実施した。			目標	北千里地域における児童センターの整備を検討する。	
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成27年12月から平成28年1月にかけて、北千里駅周辺活性化ビジョン(案)に対する、パブリックコメントを実施しました。 ビジョン(案)の中で、再整備段階において、新たな児童館の整備について検討する旨を記載しています。					

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	(仮称)北千里児童センター整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01289				

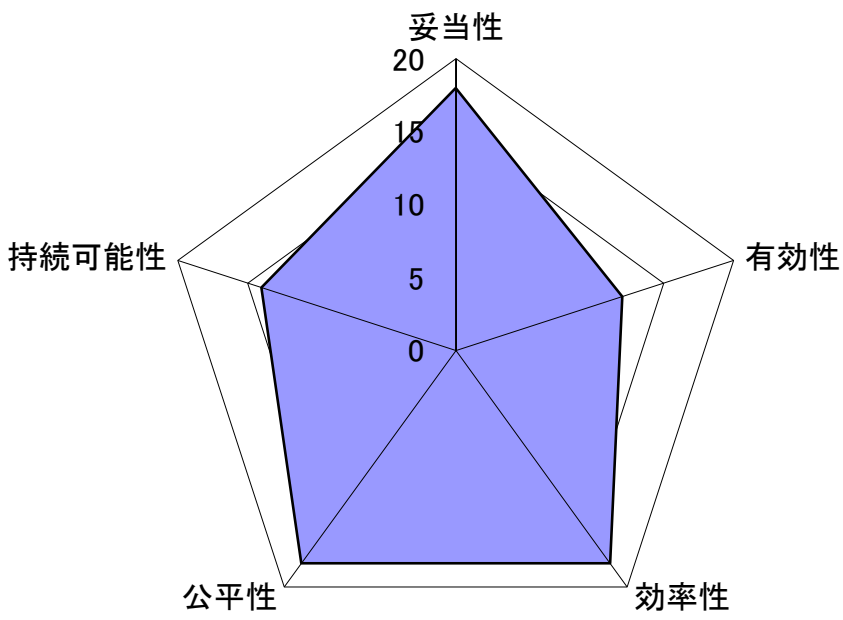
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01289
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内を6ブロックに分け、1ブロックに児童会館・児童センターを2館整備する構想に基づき、11館の児童会館・児童センターを整備している。北千里駅周辺活性化ビジョン(案)に再整備段階において、新たな児童館の整備について検討する旨を記載しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	あかちゃんの駅推進事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	実施要領別表に記載されている登録施設の追加						
(2)	直近の改正	平成25年度								
(3)	根拠法令等	吹田市あかちゃんの駅登録事業実施要領								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明								
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21		
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
		範囲等	乳幼児及びその保護者							
		目標 (どういう状態にしたいのか)	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを提供する。							
	結果 (どのような効果が得られるのか)	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進する。								
(7)	事業概要	外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進する。								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業		
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
		事業費(A)		0	0	0	0	0		
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			総額(B)	千円	0	0	0	0		
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0		
		特定財源(C)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	国		0	0	0	0		
			府		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
		市負担(D)		0	0	0	0	0		
		(内訳)	地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
一般財源			0	0	0	0				
財源計(C+D)		0	0	0	0	0				
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
				②						
				③						
		主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①								
		②								
		③								
<input type="checkbox"/> その他	内容									



2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	あかちゃんの駅登録施設数	目標値	(単位:か所)	120.00	110.00	110.00
			実績値	(単位:か所)	104.00	104.00	/	
		達成度(%)			86.7	94.5		
	目標値の積算方法	あかちゃんの駅として登録した施設数(事業開始時の目標数100か所)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	あかちゃんの駅への新規登録箇所数	目標値	(単位:か所)	20.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:か所)	20.00	0.00	/	
		達成度(%)			100.0	0.0		
	目標値の積算方法	あかちゃんの駅の新規登録箇所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、外出中の乳幼児と保護者が気軽に立ち寄り、授乳及びおむつ替えができるスペースを有する施設をあかちゃんの駅として登録し、周知することにより市民が安心して子育てを行う環境整備を推進することを目的としており、登録箇所数も市内で100か所を超え、事業費の増大も見込まないことから、効果的な運営がなされていると評価している。事業開始時の目標数には達しているが、登録施設が増えることで子育て中の市民が気軽に外出できる環境整備につながることから、今後とも未登録の私立保育所や小規模保育施設などの民間施設を含めた施設登録数の増加に繋がる取組を検討したい。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	あかちゃんの駅推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01290				

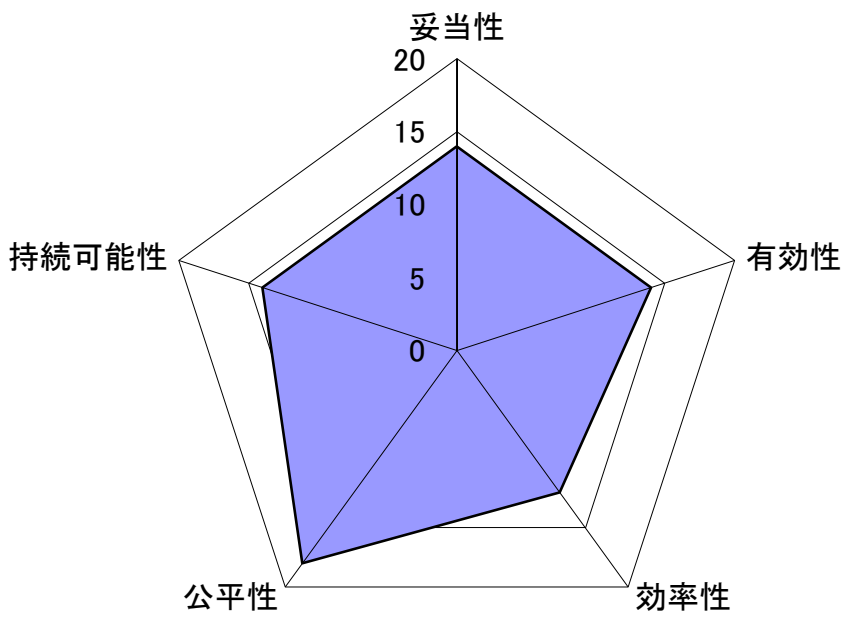
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01290
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業開始より6年で施設登録及び市民への周知は進んでいると考えている。育児教室を実施している保育所や各種検診を行う保健センター、また児童館等の乳児対象の事業を実施する施設等では利用もあり、本事業が一定有効に機能していると分析している。利用者層の違いにより施設間での利用頻度に差はあるが、登録施設数が増えることで子育て中の市民が気軽に外出できる環境整備につながるので、既存施設で対応できる範囲で登録を促進していきたい。施設の登録について、平成28年度から更新制を廃止する予定である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	子ども・子育て支援審議会事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容	子ども・子育て支援法:行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律十一による改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援審議会条例、子ども・子育て支援審議会規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	11							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市子ども・子育て支援事業計画ほか本市の子ども・子育て支援に関する施策												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	計画に基づく事業の適切な実施												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	就学前と小学生の児童を対象に、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子育て支援の一層の充実、保育の量的拡大・確保を図る												
		平成27年3月に策定した吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の進捗状況を把握し、学識経験者や教育・保育関係者や公募による市民等から構成される吹田市子ども・子育て支援審議会において点検・評価し、その結果を市民に公表する。また、特定教育・保育施設や特定地域型保育事業の利用定員の設定に関し同審議会でも審議を行うほか、量の見込みや確保方策の見直しが必要になった場合は、必要に応じて同審議会に諮り計画を見直す。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	14	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	535	325	406							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.50	0.50	0.60						
			総額(B)	千円	0	0	4,176	4,020	4,902						
		総事業費(A+B)		0	0	4,711	4,345	5,308							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		0	0	535	325	5,308						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源		0	0	535	325	5,308									
財源計(C+D)		0	0	535	325	5,308									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
主な委託内容															
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市子ども・子育て支援審議会の開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	3.00	
		達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 計画の進行管理、見直しなどに必要な回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	108.33		
			一般財源(単位:千円)	0.00	108.33		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 教育・保育の提供(確保)及び地域子ども・子育て支援事業の点検・評価数	目標値	(単位:項目)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:項目)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 子ども・子育て支援事業計画の教育・保育の提供(確保)及び地域子ども・子育て支援事業事業数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年度は吹田市次世代育成支援行動計画(後期計画)に掲載の全99事業について、本審議会で平成26年度の事業実績の点検・評価を行いました。 本事業の実施により、子ども・子育て支援事業計画の効果的な推進を図ります。				

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	子ども・子育て支援審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1410				

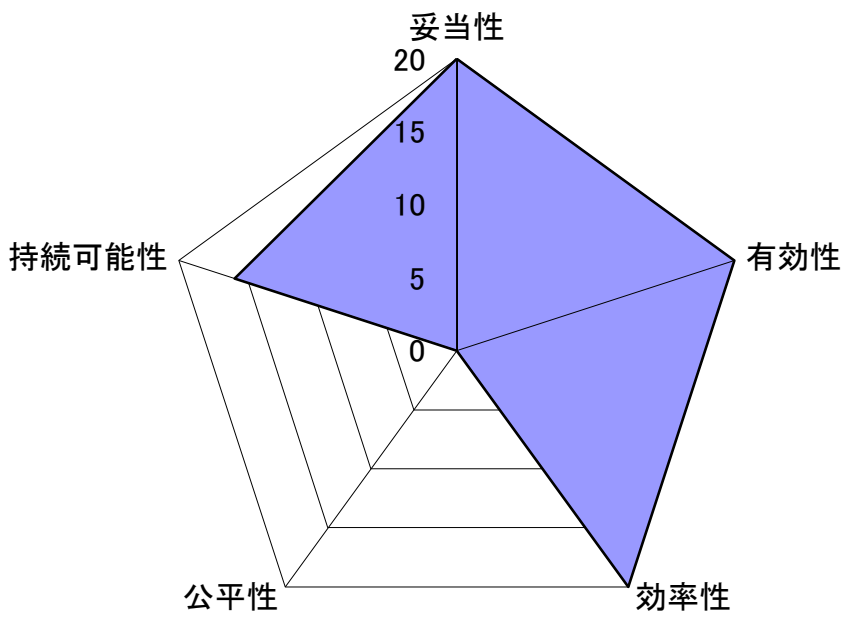
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
⑤持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)		95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	子育て支援課	事務事業番号	1410
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>平成27年度は吹田市次世代育成支援行動計画の実施状況の評価を行う際、本市における子ども・子育て支援に関する施策の実施状況を審議しました。また、特定教育・保育施設の利用定員の設定や特定地域型保育事業の利用定員の設定に関して審議しました。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	児童会館改修事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て支援課	室課長名	杉原 博之

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正内容	指定管理者の指定期間を3年から5年に変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法、吹田市立児童会館条例、吹田市立児童会館条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	21							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	児童会館・児童センター計11館											
	結果(どのような効果が得られるのか)	老朽化した施設を改修することにより、利用する子どもや保護者に安全な施設提供を目指す。 来館する子どもや保護者が、より快適に過ごせるようにする。												
(7) 事業概要	児童会館・児童センターについては、昭和55年から整備し、現在11館ある。利用者の安全を確保するため、築後30年を目途に大規模改修を計画している。 平成27年度については、豊一児童センターの屋上防水工事を実施するとともに、平成28年度の朝日が丘児童センター大規模改修工事に向けて実施設計を行った。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	8	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	27,154	19,257	106,335							
	人件費	職員数	人	0.50	0.00	1.09	1.09	0.20						
		総額(B)	千円	4,150	0	9,104	8,763	1,634						
	総事業費(A+B)		4,150	0	36,258	28,020	107,969							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	27,154	19,257	107,969							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	27,154	19,257	107,969								
財源計(C+D)		0	0	27,154	19,257	107,969								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)内藤設計										
			②											
			③											
	主な委託内容		朝日が丘児童センター大規模改修実施設計業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	定期的に施設の安全点検を行い、より安全な施設設備を提供するため、改修工事等を行う。			目標	施設の長寿命化のため、開館から概ね30年を目的に児童館に必要な改修工事を行い、安全な施設の提供を目指す。
	②	成果内容	開館21年目(施設としては32年目)の豊一児童センターについては、屋上防水工事を実施。			達成状況	より安全で、快適に乳幼児とその保護者、児童が過ごせる場所となった。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		耐震補強工事については完了しているが、その他の改修工事については児童の安全性に関わる部分や老朽化の著しい部分等の今後の継続使用のために必要最低限の改修を行う予定である。平成28年度には朝日が丘児童センターの大規模改修工事、五月が丘児童センター及び山田西児童センターの屋上防水工事、原町児童センター外壁改修工事を実施予定。				

## 事務事業分析シート

所属名	子育て支援課	事業名	児童会館改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01411				

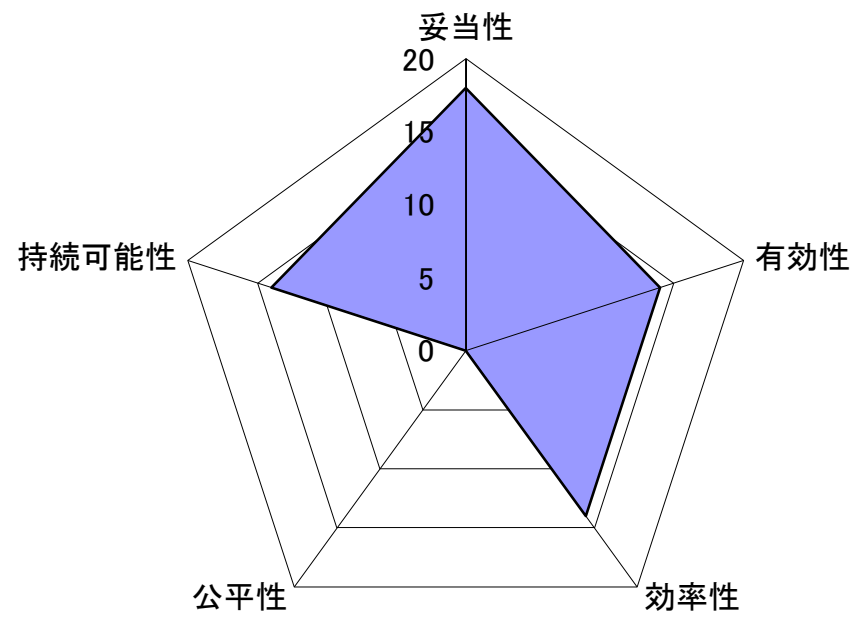
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て支援課	事務事業番号	01411
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設の長寿命化のため、開館から概ね30年を目途に児童館に必要な改修工事を行い、安全な施設の提供を目指している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)